



平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月11日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 信太 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	943	1.5	3		11	2.1	8	16.0
29年5月期第2四半期	958	7.7	9		11	34.0	10	33.7

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 11百万円 (33.5%) 29年5月期第2四半期 8百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	1.14	
29年5月期第2四半期	1.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第2四半期	1,094	758	69.3
29年5月期	1,036	746	72.0

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 758百万円 29年5月期 746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		0.00	0.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,024	5.7	40	18.1	31 ~ 50	3.8 ~ 63.5	26 ~ 42	0.9 ~ 58.9	3.56 ~ 5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期2Q	7,502,800 株	29年5月期	7,502,800 株
期末自己株式数	30年5月期2Q	株	29年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期2Q	7,502,800 株	29年5月期2Q	7,502,800 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成29年11月30日）におけるわが国経済は、国際情勢の不安定により先行き不透明な状況で推移していますが、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いております。

インバウンド市場においては、2017年1月から11月までの訪日外国人旅行者数が2,616万人（前年同期比19.0%増）と、既に2016年の訪日外客数を上回り過去最高を記録しました。（日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」）今後もアジア諸国の経済成長に伴う訪日旅行者数の増加及び日本企業における外国人向けプロモーション需要はますます高まることが期待されております。

このような状況の中、当社グループは収益力の安定と拡大を最優先課題とし、当第2四半期連結累計期間においても「海外・多言語マーケティング支援の強化」、「アセット事業の安定稼働」、そして、「人材育成による組織体制の強化」に注力し、業容の拡大を図りました。

特に、マーケティング事業における「海外・多言語マーケティング支援の強化」においては、拡大を続けているインバウンド市場を背景に、当社が持つ多言語ノウハウと海外法人とのネットワークを活用した付加価値の高いサービス提供を引き続き行っております。また、2017年9月にベトナム社会主義共和国において、新たに子会社（AUN Vietnam Co., Ltd.）を設立し、現地における営業活動を開始しております。

また、国内及びすべての海外法人を対象としたグローバル人材の採用及び幹部候補向け・マネージャー向けの集合研修等、人材への投資を引き続き行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は943,433千円（前年同期比1.5%減）、営業損失は3,692千円（前年同期は営業利益9,139千円）、経常利益は11,136千円（前年同期比2.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,575千円（前年同期比16.0%減）となりました。

① マーケティング事業

マーケティング事業においては、アジア圏における旺盛な日本旅行需要を背景に、多言語（日本語以外の言語）プロモーション領域においては引き続き堅調に推移したものの、国内向け日本語PPCサービスの契約終了やグローバル人材の採用・教育等の先行投資により、前年同期比で売上及び利益はマイナスとなりました。

また、ベトナムにおいて、営業拠点網の拡充を目的として子会社を設立いたしました。今後も引き続き、アジア圏における多言語サービス展開のさらなる拡充に努め、海外法人のネットワークを活用した付加価値の高いサービスの提供を行うとともに、グローバル人材の採用及び教育に対する投資を継続的に取り組んでまいります。

以上の結果、当事業における売上高は926,284千円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は92,180千円（前年同期比0.5%減）となりました。

② アセット事業

アセット事業においては、ASEAN加盟国の中でも高い経済成長が続くフィリピン及びベトナムにおいて、日系企業の海外進出支援の一環として、企業向けのオフィスや海外出向者向けのコンドミニアムなどインフラ提供を行ってまいりました。今後のさらなる事業拡大を目指し、当連結会計年度においては、インターナショナル不動産&投資カンファレンスへの参加やVR（Virtual Reality）による内見開始、個別相談会やセミナーの開催等、プロモーション活動に注力してまいりました。2017年8月より執行役員人材を採用し、新体制での営業活動を開始しております。

以上の結果、当事業における売上高は17,148千円（前年同期比22.3%減）、セグメント損失は17,556千円（前年同期はセグメント損失3,348千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、736,555千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、357,553千円となりました。これは、主に建設仮勘定の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.5%増加し、307,559千円となりました。これは、主に買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し、28,090千円となりました。これは、主に長期前受金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、758,459千円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成29年7月12日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	442,612	454,141
受取手形及び売掛金	207,235	243,313
仕掛品	1,136	106
その他	38,344	42,099
貸倒引当金	△5,178	△3,105
流動資産合計	684,151	736,555
固定資産		
有形固定資産		
建物	117,344	118,489
減価償却累計額	△20,978	△23,337
建物(純額)	96,365	95,152
車両運搬具	2,218	-
減価償却累計額	△1,027	-
車両運搬具(純額)	1,191	-
工具、器具及び備品	41,155	41,224
減価償却累計額	△35,290	△36,412
工具、器具及び備品(純額)	5,864	4,812
建設仮勘定	98,128	106,708
有形固定資産合計	201,550	206,673
無形固定資産		
ソフトウェア	720	4,458
無形固定資産合計	720	4,458
投資その他の資産		
投資有価証券	92,902	93,572
長期貸付金	26,968	22,152
敷金及び保証金	30,807	31,081
その他	744	802
貸倒引当金	△1,429	△1,186
投資その他の資産合計	149,993	146,422
固定資産合計	352,263	357,553
資産合計	1,036,414	1,094,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,572	176,921
未払費用	26,346	27,334
未払法人税等	4,992	2,720
前受金	29,193	18,336
その他	47,941	82,247
流動負債合計	264,046	307,559
固定負債		
長期前受金	21,712	24,557
その他	1,439	1,886
繰延税金負債	2,696	1,645
固定負債合計	25,848	28,090
負債合計	289,894	335,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△77,938	△69,362
株主資本合計	735,073	743,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,042	3,687
為替換算調整勘定	5,316	11,049
その他の包括利益累計額合計	11,358	14,737
新株予約権	87	72
非支配株主持分	0	0
純資産合計	746,520	758,459
負債純資産合計	1,036,414	1,094,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	958,240	943,433
売上原価	691,425	677,857
売上総利益	266,814	265,575
販売費及び一般管理費	257,675	269,268
営業利益又は営業損失(△)	9,139	△3,692
営業外収益		
受取利息	70	57
解約手数料等	68	152
為替差益	-	73
投資事業組合運用益	14,960	12,817
その他	1,288	1,922
営業外収益合計	16,388	15,023
営業外費用		
支払利息	11	362
為替差損	14,141	-
その他	△0	△167
営業外費用合計	14,151	195
経常利益	11,375	11,136
特別利益		
固定資産売却益	98	-
新株予約権戻入益	5	15
特別利益合計	103	15
特別損失		
固定資産売却損	-	43
特別損失合計	-	43
税金等調整前四半期純利益	11,479	11,107
法人税、住民税及び事業税	1,265	2,531
四半期純利益	10,214	8,575
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,214	8,575

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	10,214	8,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,065	△2,354
為替換算調整勘定	804	5,732
その他の包括利益合計	△1,261	3,378
四半期包括利益	8,953	11,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,953	11,953
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	936,171	22,068	958,240	—	958,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
セグメント利益又は損失(△)	92,686	△3,348	89,337	△80,198	9,139

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	926,284	17,148	943,433	—	943,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	715	—	715	△715	—
セグメント利益又は損失(△)	92,180	△17,556	74,623	△78,316	△3,692

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。